



KAMEMIZU CHEM.IND.CO.,LTD.

## DIL Q&A

### 特長

#### Q1:動的リライニング材(PAT.)とは？

A:はじめはティッシュコンディショナーとしての働きがあり、一定期間が経過し動的機能印象がとれた頃に、自発的に硬化を開始するタイマー内蔵型のリライニング材のことです。

#### Q2:動的リライニング材のメリットは？

A:はじめ軟らかく、一定期間後は機能時の印象面が徐々に硬化を開始しますので、痛みや違和感が少なく義歯に慣れやすいなど、患者さんに優しいリライニング材です。

#### Q3:ダイナミックライナーとの違いは？

A:弊社“ダイナミックライナー”の欠点であった操作性を、以下のとおり大幅に改善いたしました。

[ダイナミックライナーとの違い]

- 1) 操作時のベトつき感が少なく、扱いやすくなりました。
- 2) ゾルからゲルになる時間が短くなり、取り出し時間も約4分短くなりました。
- 3) 口腔内で硬化を開始する時期が、従来の2週間前後から1週間前後と早くなりました。  
(夜間就寝中は義歯を口腔外に取り外した場合)

#### Q4:Fdrペリとの違いは？

A:[Fdrペリとの違い]

“Fdrペリ”は光重合用レジンですが、“D I L”は光重合器が不要の常温重合レジンです。  
また、硬化を開始する時期も大きく異なります。“D I L”は軟質期間を短くすることによって面荒れを防止し、耐久性の向上が図られました。

(参考)

☆光重合タイプの“FD r”や“Fdrペリ”は、光重合を行なわなかった場合、硬化が長期(約1～2ヶ月間)にわたって徐々に進むため、軟質の期間が長く、そのぶん面荒れ発生リスクが高くなります。

この軟らかい期間は専用の義歯洗浄剤“クリーンソフト”が必要で、一般市販義歯洗浄剤(Q16.2参照)を使用すると、材質が劣化し表面荒れを発生するため、患者さんへの義歯洗浄方法の指導徹底が必要となります。

☆“D I L”は常時装着の場合、3～5日で自発的に硬化を開始するため、1週間後からは一般市販義歯洗浄剤“酵素入りポリデント”(アース製薬)が使用でき、軟質レジン専用の“クリーンソフト”が必須ではなくなりました。

## 物 性

#### Q5:硬化を開始する時期は？

A:常時装着している場合は3～5日で、夜間就寝中に義歯を外している場合は、1週間程度で硬化を自発的に開始します。

#### Q6:一旦硬化が始まると、どれぐらいの時間をかけて硬化が完了するのですか？

A:数週間をかけて徐々に硬化が進みます。但し、床辺縁部など直接粘膜と常時接触しない箇所は、硬化がやや緩やかになります。

また、アフターや骨隆起部など一時的に緩衝したい部位は、該当する床内面を多めに削除(裏装材の厚みが2mm程度以上)することによって、軟らか感が比較的長く続きます。

#### Q7:装着直後はどの程度の軟らかさですか？

A:装着当初はティッシュコンディショナー並みの軟らかさです。

#### Q8:最終的な硬さは？

A:徐々に硬化が進み、最終的には常温重合レジンよりも少し軟らかい程度まで硬くなります。  
但し、床辺縁などでは硬化が緩やかになります。

#### Q9:ティッシュコンディショナーが硬くなった場合と、どこが違うのでしょうか？

A:ティッシュコンディショナーは単にポリマーが膨潤してゲル化しているため、アルコールや可塑剤が抜けると硬くなってきますが、これは経時的な劣化にすぎません。

“D I L”の硬化は重合反応で硬化するため化学的に安定しており、ティッシュコンディショナーよりも表面荒れなどが起こりにくくなっております。

## 操作性

#### Q10:床が短い場合は？

A:義歯床の床縁が短い場合は、発売元:(株)ヨシダ(製造元:亀水化学)の床縁封鎖・延長専用レジン“ペリモールド”で床縁を延長してください。付属のシリンジで床辺縁に盛り上げ、手指で概形成してから、ボーダーモールドイングをして床縁を簡単に延ばすことができます。

### Q11: リライニング時、床への接着材は？

A: 付属の表面滑沢材“ニュートップコート”は接着材も兼ねておりますので、義歯床粘膜面と床縁の新生面には必ず塗布するようにしてください。

リライニング直後の追加修正の場合は、接着材を塗布する必要はなく、そのまま盛り上げることができます。

### Q12: 形態修正や研磨は？

A: 研磨ができませんので、ティッシュコンディショナーの形態修正に準じて、デザインナイフかハサミで修正を行い、修正後はリライニング面全体に表面滑沢材“ニュートップコート”を塗ってツヤを出します。

### Q13: 表面滑沢材の使い方は？

A: 表面に塗布することにより、ツヤ出し、表面保護、耐摩耗性向上などの効果が得られます。

表面滑沢材“ニュートップコート”の使い方は、リライニング面を充分乾燥させてから塗布してください。塗布しない場合は、耐久性が劣ります。

なお、塗布直後はやや刺激がありますので、エアなどで充分乾燥させた後、よく水洗してください。

### Q14: “ニュートップコート”を何度塗っても光沢がでないのですが。

A: 特に床辺縁部に多く発生します。この場合は時間や日にち(再来院時も可)をおいて、再度、必ず光沢がでるまで“ニュートップコート”を塗布してください。面荒れ予防に必要です。

### Q15: 表面が部分的に白っぽくなるのですが。

A: 塗布された“ニュートップコート”の膜が水分や、義歯洗浄剤によって面から剥離したり、微小な気泡を発生したことが原因と考えられます。

この場合、表面の“ニュートップコート”膜を削除し、充分乾燥させた上で、再度“ニュートップコート”を塗布してください。

## お手入れ方法

### Q16: 面荒れの原因は？

A: “D I L”のようなアクリル系の軟質リライニング材では、面荒れの主要な原因としてデンチャーブランクが発生しやすいことの他に、下記のようなことが挙げられます。

[面荒れ原因]

#### 1) 付属の表面滑沢材“ニュートップコート”を使用していない

表面の微小気泡をコーティング材でつぶすことによって表面を滑沢にし、ブランクの付着を予防しますので、必ず表面滑沢材“ニュートップコート”を塗布してください。

塗布直後はやや刺激がありますので、エアなどで充分乾燥させた後、水洗してください。

#### 2) 一般の市販義歯洗浄剤による劣化

軟質の期間(約一週間)中は、一般の市販義歯洗浄剤を使用すると材質が劣化するので、絶対に使用しないように患者さんをご指導ください。

理由としては、市販義歯洗浄剤に含まれる漂白剤や発泡剤が、多数の気泡をレジン内に発生させて表面荒れの原因となるからです。(義歯の洗浄方法はQ17参照)

#### 3) 水洗いのみによる劣化

表面に付着したバイオフィームは、水洗いのみでは除去できず、長期にわたるとそれが石灰化して面荒れと表面の硬化につながります。

#### 4) 煮沸による劣化

気泡がレジン表面に発生しますので、煮沸は絶対に行なわないでください。

### Q17:リライニング後の洗浄方法は？

A:硬化が開始しても、徐々に進むため比較的軟らかい期間が長く、デンチャープラークが付着しやすくなります。従ってリライニング義歯は以下のとおり洗浄するようにご指導ください。

- 1)リライニングより一週間はシステムのような超軟毛歯ブラシで、義歯を軽く水洗いしてください。  
なお、ドライマウスなど特に汚れやすい口腔内環境の場合、デンチャープラークが発生しやすいので、軟質期間中は軟質レジン専用の義歯洗浄剤“クリーンソフト”(亀水化学)をご使用ください。
- 2)リライニングより一週間後からは、市販品では義歯洗浄剤“酵素入りポリデント”(アース製薬)のみが使用できるようになります。毎日洗浄することをお勧めいたします。  
但し、同じ“ポリデント”でも、ヤニ取り漂白効果の高い“スモーカーズポリデント”、“部分入れ歯用ポリデント”等や、他社製の一般市販義歯洗浄剤は本材を劣化させますので、使用しないように患者さんをご指導ください。
- 3)タバコのヤニなどの頑固な着色の場合、医院専用の義歯洗浄剤“デントクリーン”(亀水化学)を用いると、5～10分の超音波洗浄で見違えるほど綺麗になります。

## その他

### Q18:金属床には使えますか？

A:“D I L”は金属床には接着いたしません。

どうしても使用する方法として、金属用の接着材(例 メタファーストのボンディングライナーなど)を塗布し、即重レジンで金属表面を一層コーティングした上に、“ニュートップコート”を塗布し、本材を盛り上げるようにしてください。

### Q19:色調は？

A:ピンクとライブピンク(繊維入り)の2種類です。

### Q20:使用回数は？

A:内容量は粉50g、液45mL、ニュートップコート30mLで、上下顎総義歯でおよそ6組、合計12床分に相当します。

### Q21:保険請求は？

A:義歯床の裏装です。

### Q22:保管方法は？

A:できるだけ冷蔵庫か、冷暗所に保管してください。

液は揮発性ですので、使用後はビンのキャップをしっかりと閉めるようにしてください。

### Q23:朝起きて保管容器の水中からリライニング義歯を取り出すと、表面が硬くなっているのですが。

A:特に冬期など、保管容器の水中からリライニング義歯を取り出すと一時的に硬化している場合があります。これはアクリル系軟質レジンの特性で、温度によって可逆的に硬くなったり軟らかくなったりするからです。

“D I L”の場合、装着初日より1～2週間程度でしたら、口腔内装着後は体温によって再び軟らかくなってきます。